

エアーハンマーキット

AHM-661K

取扱説明書

このたびはエアーハンマーキットをお買い求めいただき
誠にありがとうございます。
安全にご使用頂くために、取扱説明書を必ずお読み下さい。
又、大切に手元に保管して下さい。

各部の名称



Fujiwara
Sangyo Co., Ltd.
HYOGO MIKI

発売元：藤原産業株式会社
兵庫県三木市福井2115-1
TEL. 0794-86-8200(代)

安全性に関する警告・注意事項

※ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用ください。

■エアーツールの作動環境は、

警告

- 適正な空気圧力で使用してください。
指定空気圧力以上での使用は製品の破損・事故の原因となりますので、圧力計、減圧弁等を設置して、必ず適正な空気圧力(手元動圧)で使用してください。
- エアーコンプレッサ以外の動力源を使用しないでください。
エアーツールはエアーコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(酸素・アセチレンガス・プロパンガス等)を使用すると爆発の危険があります。
- 適正なエアーホースを使用してください。
エアーホースは耐油性で外面が耐摩耗性を有し、規定内径以上の作業空気圧力に適合したのを使用してください。また、老朽化したものや極端に長いものは使用しないでください。
- エアーホース取付具は確実に取りつけてください。
取付不備によりエアーホースがはずれた場合、エアーの噴射によりエアーホースが飛び回り、非常に危険ですので、エアーホース取付具はエアーホースおよびエアーツールに確実に取りつけてください。

■作業環境は、

警告

- 作業場は十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
暗い作業場や散らかった作業場は事故の恐れがあります。照明等に留意し、整理整頓を心がけてください。
- 爆発の危険性のあるところでは使用しないでください。
エアーツールは引火や爆発の恐れがある場所では、危険ですので絶対に使用しないでください。

■作業時の服装は、

警告

- きちんとした服装で作業してください。
ダブダブの服やネックレス等の装身具は着用せず、作業に適した服装で作業してください。また、長い髪の毛がエアーツールにかからないように、帽子で覆ってください。
- 作業保護具を使用してください。
人体保護のため、作業に応じたヘルメット・保護メガネ・耳栓・防塵マスク・安全靴等の作業保護具を使用してください。

■エアーツールを使用する場合は、

警告

- 加工物をしっかりと固定してください。
加工物の固定が不十分な場合、加工物が飛んでけがをする恐れがありますので、確実に固定して作業を行ってください。
- 可動部に手や布きれ等を近づけないでください。
使用中は非常に危険ですので、可動部に手や布きれ等を絶対に近づけないでください。
- 適当に休憩を行ってください。
長時間の連続作業は疾病等の原因となりますので、適当に休憩を行ってください。
また痛み等、身体に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診断を受け、その指示に従ってください。
- 無理な姿勢での作業は危険です。
エアーツールを確実に保持し、突発的な動きにも対応できるようにして、安定した作業姿勢で作業を行ってください。
- 不意な始動を避けてください。
エアーホース持続する場合は、始動スイッチが停止位置になっているかを確認してください。また、エアーツールを持ち運びする場合は、始動スイッチに手をかけないでください。
- 電気に対して接触させないでください。
エアーツールは電気との接触に対して絶縁されていませんので、電気に対し接触させないように注意して使用してください。
- 異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。
使用中に異常を感じた場合は直ちに使用を中止して、点検・修理を依頼してください。

■その他

警告

- 指定された用途以外に使用しないでください。
指定用途以外への使用は事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- 改造は絶対にしないでください。
改造を行っての使用は事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- 部品を取り外さないでください。
取りつけてある部品やねじ類を取り外しての使用は、事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- 危険が予想される場合はエアーの供給を止め、エアーホースをエアーツールから外してください。
使用しない場合、または保守点検を行う場合、先端工具・トイシ・チゼル等の交換を行う場合、その他危険が予想される場合は必ずエアーの供給を止め、エアーホースをエアーツールから外してください。

■エアーツール使用時の基本的な注意事項について、

注意

- 作業は十分注意して行ってください。
軽率な行動や非常識な行動および疲れている場合の使用等はけがや事故の原因となりますので、油断しないで、十分注意して作業を行ってください。
- 関係者以外は近づけないでください。
作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特に子供は危険です。
- 無理な使用は行わないでください。
過負荷での無理な使用は、エアーツールの破損や故障の原因となりますので、能力以内で使用するようにしてください。
- 排気の方角には十分に注意してください。
事故や疾病の原因になりますので、排気が直接目や耳にあたらないように、排気方向に注意して使用してください。
- エアーツールの取扱いは丁寧に行ってください。
乱暴な取扱いは事故や故障の原因となりますので、エアーツールを投げたり落としたりして、衝撃を与えないようにしてください。
- エアーホースの取扱いは丁寧に行ってください。
エアーホースをエアーツールの支えや、上げ下げに使用しないでください。
エアーホースの破損は事故の原因となります。
- 高所作業はエアーツールの落下に注意してください。
エアーツールの落下による事故を防止するため、高所での作業時は安全ワイヤの使用等の落下防止策を講じてください。
- 保管にも十分な配慮を行ってください。
使用しない場合は、十分に手入れを行い、子供の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。

■保守・点検・修理について、

注意

- 使用前には必ず点検を行ってください。
使用前にはねじ部のゆるみや部品の損傷等がないか必ず点検してください。性能の低下や故障の原因となるばかりでなく、危険をともなう恐れがあります。
- 保守・点検を必ず実施してください。
安全に効率よく作業していただくために、保守・点検を怠らないでください。
- 作業前・作業後はエアーフィルタ・エアーコンプレッサタンク内の水抜きを行ってください。
- 修理は弊社にご依頼ください。
修理は弊社に、お買い求めの販売店または代理店等を通じて依頼ください。お客様の勝手な処置により、事故や不具合が生じた場合は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- いつも安全に効率よくお使いいただくために10万回もしくは3カ月ごとの定期点検をおすすめします。

■仕様

型式	打撃数差	空気消費量	質量	使用空気圧力	空気取入口	エアースホース	全長
AHM-661K	4500回/分	114 ℓ /min	約1100g	0.6MPa (6.3kgf/cm ²)	PT 1/4配管接続メネジ	内径 6.5mm以上	約180mm

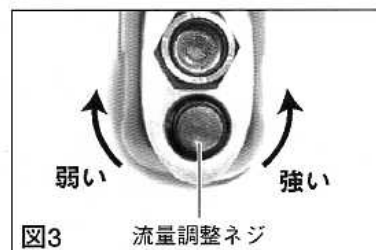
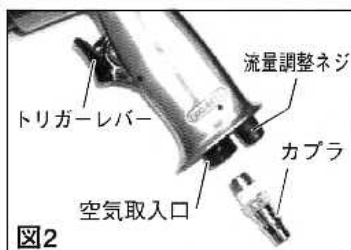
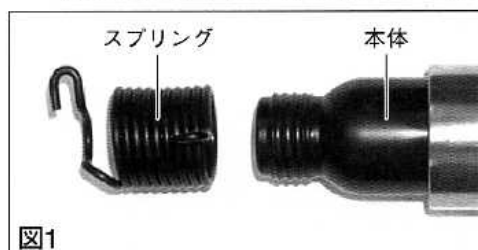
■付属品・部品

- 本体 1pcs
- スプリング 1pcs
- チゼル 5pcs
- シールテープ 1pcs
- PT1/4カプラ 1pcs
- オイル 1pcs

明細・メタルシートチゼルA
 ・メタルシートチゼルB
 ・フラットチゼル
 ・ポイントチゼル
 ・リベットチゼル

■使用方法

- ①作業に適したチゼルを本体先端へ差し込み、スプリングを締め付けて下さい。図1
 スプリングの締め付けがゆるい状態で作業されると大変危険です。
 締め付けがしっかりとできているか確認して下さい。
- ②本体グリップ下部のエア接続口へカプラ（プラグ）を接続して下さい。図2
 プラグのネジ部にシールテープを3～5cm程度巻きつけて下さい。
- ③下図1にありますトリガーレバーを引くと本体が作動します。
 チゼルの先端部を、ハツリを行う対象物にしっかりと当てて作動させて下さい。
 作業の際は、安定した姿勢で、本機をしっかりと保持して下さい。
 また、グリップ下部にある流量調整ネジを回すことで、打撃力を調整できます。図3
 流量調整ネジを時計回りに回しますと打撃力は弱まり、反時計回りに回すと強まります。



■給油のお願い

- 使用前・中・後に必ず本体への給油を行って下さい。
- 図2のトリガーレバーを引きながら、エア接続口からオイルを数滴注油して下さい。
- オイルは市販のエアーツールオイルかタービンオイル ISO VG32をお使い下さい。
- *オイルを入れすぎますと、オイル漏れが起こります。ただし、作業中に少量出るのは正常です。

■チゼルの用途



メタルシートチゼルA
 軟鋼鉄板0.5mm程度の切断。
 小ボルト・ネジの切断。



フラットチゼル
 タイルはがし、塗装はがし、
 コンクリート、ブロック、
 モルタルの小ハツリ用。



メタルシートチゼルB
 軟鋼鉄板0.5mm程度の切断。
 小ボルト・ネジの切断。



リベットチゼル
 リベット、小ボルト・ネジの
 切断。



ポイントチゼル
 コンクリート、ブロック、
 モルタルの小ハツリ用。

ご使用についての注意

【エアースーツについて】

- ①傷がついていたり、破損の恐れがあるエアースーツは使用しないで下さい。
- ②内径φ6mm以上のエアースーツを使用して下さい。
 - 水道ホースなどは絶対に使用しないで下さい。ホースが破裂します。
 - 内径が細いと圧力降下の原因となり、十分な能力ができません。
- ③エアースーツを接続するときは、エアーツールのレバーのスイッチに指を掛けしないで下さい。

【空気圧について】

- ①空気圧は0.6MPa (6.3kgf/cm²) でご使用下さい。
- ②使用しないときや、修理のときも、必ずホースを外して下さい。

【安全にご使用いただくために】

- 作業中は保護メガネ、防塵マスク、耳栓などを着用してください。
- エアーツールを接続したまま、ホースを持って運んだり、引っ張ることはやめてください。
- 使用中、他の人や、特にお子様は近づけないでください。
- 本機を改造してのご使用は危険です。絶対に行なわないでください。

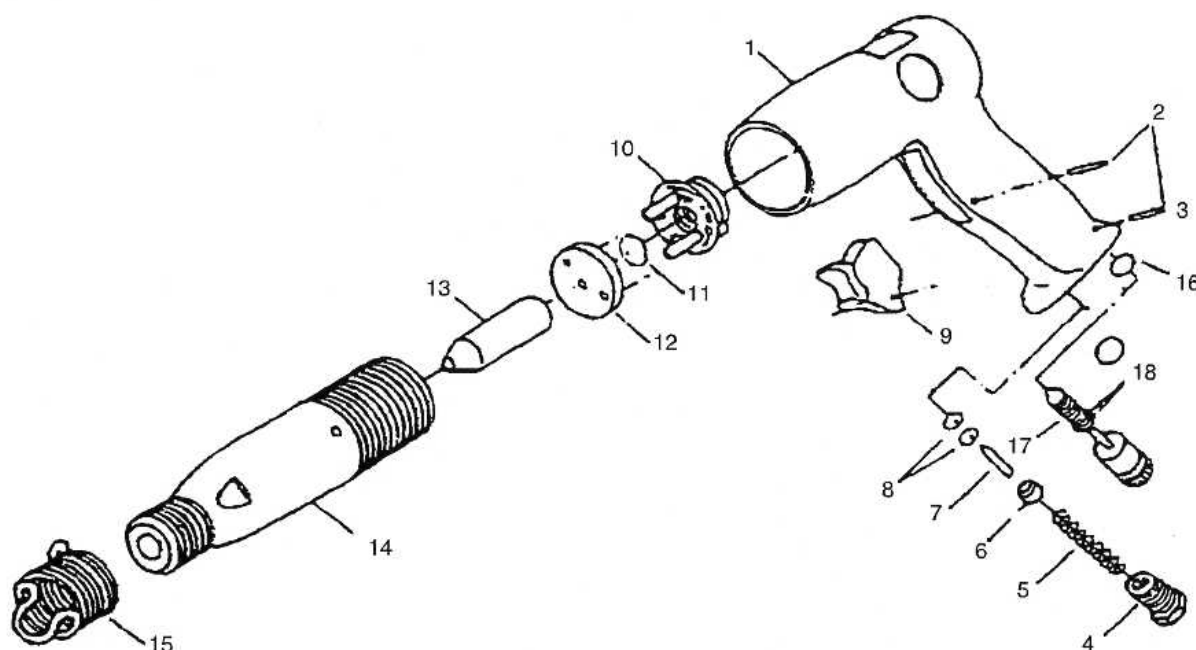
【給油について】

エアーツールを正常に維持するために、使用前・中・後の給油作業を欠かさないで下さい。
給油をまめにしていただくことで、本体内部のゴミを洗い流し、サビからも保護されます。
給油頻度が少ないと、エアーツールの動きも力も弱くなり、最後には動かなくなります。

■故障のときのチェックと修理方法

故障	原因	処理方法
回転が遅い	空気圧が低い	圧力を上げる(規定内) エアリークがないかチェックする
回転しない	ツール内部にスラッジや カーボンのつまり	SAE#10相等の潤滑油と灯油の 混合液を空気と一緒に吹き込む
ツールより水滴 が吹き出す	コンプレッサーのタンクに 水分が溜まっている	タンクの水を抜く (ドレンコックより)

■パーツリスト



パーツNo.	パーツ名	数量
1	モーターハウジング	1
2	ピン	1
3	ピン	1
4	ホースアダプター	1
5	スロットルスプリング	1
6	ラバーシート	1
7	バルブピン	1
8	Oリング	2
9	トリガー	1

パーツNo.	パーツ名	数量
10	リアーバルブ	1
11	バルブディスク	1
12	フロントバルブ	1
13	ピストン	1
14	シリンダー	1
15	スプリング	1
16	ラバーガスケット	1
17	レギュレーター	1
18	Oリング	2